

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

創造と前進を旨とし、価値ある商品によって社会に貢献し、社業の永続的発展成長を期す

売上高
7,300億円

経常利益
1,000億円

ROIC
14.0%

フリーキャッシュ・フ
840億円

② 中長期の経営戦略

1. 機能材料部門の強化

グローバルシェアNo.1機能材料の連続創出。レアマテリアル事業部創設とシナジー創出を推進

3. 事業創造の持続化

全固体電池向け固体電解質やHRDP、多孔体事業など新テーマの事業化推進。事業機会探索力と研究開発力を強化

2. 金属部門のリサイクル推進

循環型社会実現に向けた高度なリサイクル製錬ネットワーク追求。2030年度のCO2排出量2013年度比38%削減達成

4. ポートフォリオマネジメント強化

バイサイドM&Aで予算枠240億円設定。事業別WACC・ROIC目標運用で資本効率を向上

③ 対処すべき課題

① 品質不適切行為への対応

- ・ 子会社パーライト製品の検査成績表データ書き換え問題。グループ一丸となった再発防止策の実行

② カーボンニュートラル達成

- ・ 排出量取引制度とScope3への対応推進。低炭素エネルギー活用による金属素材提供

③ 商号変更による一体化

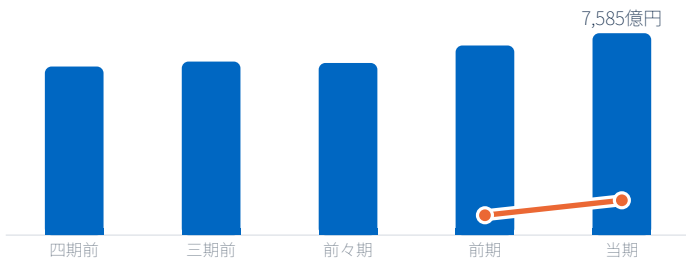
- ・ 2025年10月から三井金属株式会社へ商号変更予定。統合思考経営の実践推進

面接で使えるポイント

- ・ 2030年のありたい姿実現に向け、社会的価値と経済的価値の両立を目指す統合思考経営を推進中
- ・ グローバルシェアNo.1機能材料の連続創出など、既存事業と新規事業の両立で非線形成長を実現
- ・ 2030年度売上高7,300億円、ROIC14.0%達成に向け、事業ポートフォリオの動的管理を強化

証券コード 5706

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
7,585億円営業利益率
17.3%財務健康度
60点 / 100点要するに
機能材料、金属、モビリティ、その他の事業を主力とする非鉄金属総合企業

主力事業・セグメント

- Engineered素材Sect 42.1%
- 金属Sector 38.2%
- その他法人向けSector 13.0%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高7,585億円の事業規模
- 営業利益率17.3%と高い収益性
- 将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 65.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
896万円

非鉄金属内 3位/32社

平均年齢
42.88歳

非鉄金属内 19位/32社

平均勤続
13.9年

非鉄金属内 23位/32社

女性管理職
1.8%

非鉄金属内 24位/28社

男性育休
75.0%

非鉄金属内 15位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 野村證券株式会社が三井金属株式会社<5706>株式の変更報告

